

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	英語基礎	前期 2 単位	6	1 0	8

◇科目の目標

読み物教材を通して、英語への興味・関心を引き出すと共に、英語の基礎的な能力を養う。

◇科目の概要

英語の基本的な文法事項を学びながら、英文の持つ面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4領域をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

テキストや補助教材学習書を使いながら、英語に慣れ、できるだけ英語を運用していく学習を心がける。

使用教科書 数研出版 Fun Reader①

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/26,4/27	1	Lesson 1 What am I?	pp. 2-3
2	5/3,5/4	1	Lesson 1 What am I?	pp. 2-3
3	5/10,5/11	2	Lesson 3 Dear Me (in 10 years)	pp. 6-7
4	5/17,5/18	3	Lesson 8 The Centipede and the snail	pp. 16-17
5	5/24,5/25	3	Lesson 8 The Centipede and the snail	pp. 16-17
6	6/21,6/22	4	Lesson 10 Rhyming Game	pp. 20-21
7	6/28,6/29	5	Lesson 11 A Day Trip to Nara	pp. 22-23
8	7/5,7/6	5	Lesson 11 A Day Trip to Nara	pp. 22-23
9	7/12, 7/13	6	Lesson 15 The History of Sneakers	pp. 30-31
1 0	7/19, 7/20	6	Lesson 15 The History of Sneakers	pp. 30-31

◇テスト範囲

中間テスト	期末テスト
レポート No.1 ～ No.3	レポート No.4 ～ No.6
テキスト Lesson 1 ～ Lesson 3	テキスト Lesson 4 ～ Lesson 6

◇成績評価の方法

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	英語基礎	後期2単位	6	10	8

◇科目の目標

読み物教材を通して、英語への興味・関心を引き出すと共に、英語の基礎的な能力を養う。

◇科目の概要

英語の基本的な文法事項を学びながら、英文の持つ面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4領域をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

テキストや補助教材学習書を使いながら、英語に慣れ、できるだけ英語を運用していく学習を心がける。

使用教科書 数研出版 Fun Reader①

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10/11,10/12	1	Lesson 1 What am I?	pp. 2-3
2	10/19,10/20	1	Lesson 1 What am I?	pp. 2-3
3	10/25,10/26	2	Lesson 3 Dear Me (in 10 years)	pp. 6-7
4	11/1,11/2	3	Lesson 8 The Centipede and the snail	pp. 16-17
5	11/8,11/9	3	Lesson 8 The Centipede and the snail	pp. 16-17
6	12/6,12/7	4	Lesson 10 Rhyming Game	pp. 20-21
7	12/13,12/14	5	Lesson 11 A Day Trip to Nara	pp. 22-23
8	12/20,12/21	5	Lesson 11 A Day Trip to Nara	pp. 22-23
9	12/27,12/28	6	Lesson 15 The History of Sneakers	pp. 30-31
10	1/10,1/11	6	Lesson 15 The History of Sneakers	pp. 30-31

◇テスト範囲

中間テスト	期末テスト
レポート No. 1 ～ No. 3 テキスト Lesson 1 ～ Lesson 3	レポート No. 4 ～ No. 6 テキスト Lesson 4 ～ Lesson 6

◇成績評価の方法

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく（必要面接時数クリアー）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアーできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価する。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	英語コミュニケーションⅠ	通年3単位	9	14	12

◇科目の目標

情報や考えなどを理解し、適切に伝える基礎的な能力を養う。また積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

◇科目の概要

生活や時代に合った題材を多く取り上げ、英語圏の文化に触れ、英語そのものの面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

音読練習、語彙力、ポイント英文の解釈に力を入れながら、継続的に学習する。

使用教科書 東京書籍 All Aboard! English Communication I

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	内 容	教科書
1	4/26,27	1	Lesson 1 Breakfast around the World	pp. 16-23
2	5/10,11	2	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	pp. 24-33
3	5/17,18	3	Lesson 3 Life with Spade	pp. 34-43
4	5/24,25	4	Lesson 4 A Miracle Mirror	pp. 44-55
5	6/28,29	4	Lesson 4 A Miracle Mirror	pp. 44-55
6	7/5,6	5	Lesson 5 A Dream Engine	pp. 56-65
7	7/12,13	5	Lesson 5 A Dream Engine	pp. 56-65
8	10/11,12	6	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	pp. 74-83
9	10/19,20	7	Lesson 7 A diary of Hope	pp. 84-93
10	11/1,2	7	Lesson 7 A diary of Hope	pp. 84-93
11	11/8,9	8	Lesson 8 A Door to a New Life	pp. 94-107
12	12/6,7	8	Lesson 8 A Door to a New Life	pp. 94-107
13	12/20,21	9	Lesson 9 Ghosts in the Oceans	pp. 108-119
14	12/27,28	9	Lesson 9 Ghosts in the Oceans	pp. 108-119

◇テスト範囲

前期期末	レポート No. 1～5 教科書 L. 1～5	後期期末	レポート No. 6～No. 9 教科書 L. 6～9
------	----------------------------	------	--------------------------------

◇成績評価の方法

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は9通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必要数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	英語コミュニケーションⅡ①	2	6	10	8

◇科目の目標

コミュニケーションを図ろうとする態度を育てると共に、英語の基礎的な能力を養う。

◇科目の概要

英語の基本的な文法事項を学びながら、英文の持つ面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4領域をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

音読練習、語彙力、ポイント英文の解釈に力を入れながら、継続的に学習する。

使用教科書 東京書籍 All Aboard! English Communication II

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/26,4/27	1	Lesson 1 A Colorful Island	pp. 10 ～ 19
2	5/3,5/4	1	Lesson 1 A Colorful Island	pp. 10 ～ 19
3	5/10,5/11	2	Lesson 2 With the Beatles	pp. 20 ～ 29
4	5/17,5/18	3	Lesson 3 Wild Men	pp. 30 ～ 41
5	5/24,5/25	3	Lesson 3 Wild Men	pp. 30 ～ 41
6	6/21,6/22	4	Lesson 4 Little Hero	pp. 42 ～ 55
7	6/28,6/29	4	Lesson 4 Little Hero	pp. 42 ～ 55
8	7/5,7/6	5	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	pp. 56 ～ 69
9	7/12,7/13	6	Lesson 6 Seeds for Future Generations	pp. 78 ～ 91
10	7/19,7/20	6	Lesson 6 Seeds for Future Generations	pp. 78 ～ 91

◇テスト範囲

中間テスト	期末テスト
レポート No. 1 ～ No. 3 教科書 Lesson 1 ～ Lesson 3	レポート No. 4 ～ No. 6 教科書 Lesson 4 ～ Lesson 6

◇成績評価の方法

成績評価については、レポート、出席、テストを総合的に評価する。

令和6年度以降（英語コミュニケーションⅡ）については、観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく（必要面接時数クリアー）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアーできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	英語コミュニケーションⅡ②	2	6	10	8

◇科目の目標

コミュニケーションを図ろうとする態度を育てると共に、英語の基礎的な能力を養う。

◇科目の概要

英語の基本的な文法事項を学びながら、英文や読み物の持つ面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4領域をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

音読練習、語彙力、ポイント英文の解釈に力を入れながら、継続的に学習する。

使用教科書 東京書籍 All Aboard! Communication English II

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10/11,10/12	1	Lesson 7 Over the Wall	pp. 92～105
2	10/19,10/20	1	Lesson 7 Over the Wall	pp. 92～105
3	10/25,10/26	2	Lesson 8 Inspiration from Nature	pp. 106～119
4	11/1,11/2	3	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	pp. 120～133
5	11/8,11/9	3	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	pp. 120～133
6	12/6,12/7	4	Lesson 10 ① Fighting Angel	pp. 134～147
7	12/13,12/14	4	Lesson 10 ① Fighting Angel	pp. 134～147
8	12/20,12/21	5	Lesson 10 ② Fighting Angel	pp. 134～147
9	12/27,12/28	6	Reading1 Mujina	pp. 70～77
10	1/10,1/11	6	Reading1 Mujina	pp. 70～77

◇テスト範囲

中間テスト	期末テスト
レポート No. 1 ～ No. 3 教科書 Lesson 7 ～ Lesson 9	レポート No. 4 ～ No. 6 教科書 Lesson 10 ～ Reading1 Mujina

◇成績評価の方法

評価については、レポート、出席、テストから総合的に評価します。

令和6年度（英語コミュニケーションⅡ）からは、観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心に、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	応用英語	通年2単位	6	10	8

◇科目の目標

英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。

◇科目の概要

「英文法」と「長文読解」を中心に学習し、大学入試レベルの英語力をつけることを目指す。

◇学習の進め方

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

使用教科書、文法書などを活用しながら学習することが大切である。わからないところはそのままにせず、質問してください。

使用教科書 数研出版 LINK UP 英語総合問題集 ORANGE 版

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	内 容	教科書
1	4/26,27	1	Lesson 1 5 文型 「オルゴール職人、リチャード・ガード」	P. 2, 3
2	5/10,11	1	Lesson 1 5 文型 「オルゴール職人、リチャード・ガード」	P. 2, 3
3	5/24,25	2	Lesson 2 時制「リンカーンの生涯」 Lesson 3 完了形「ゴッホの絵の謎」	P. 4, 5 P. 6, 7
4	6/28,29	2	Lesson 2 時制「リンカーンの生涯」 Lesson 3 完了形「ゴッホの絵の謎」	P. 4, 5 P. 6, 7
5	7/19,20	3	Lesson 4 助動詞 「ドイツ人の責任感が支える鉄道システム」	P. 8, 9
6	10/11,12	4	Lesson 5 受動態「迷信の根拠」 Lesson 6 不定詞「第2言語を学ぶ利点」	P. 10, 11 P. 14, 15
7	10/25,26	5	Lesson 7 不定詞「真水の確保」 Lesson 8 動名詞「スーパーマーケットの戦略」	P. 16, 17 P. 18, 19
8	11/8,9	5	Lesson 7 不定詞「真水の確保」 Lesson 8 動名詞「スーパーマーケットの戦略」	P. 16, 17 P. 18, 19
9	12/6,7	6	Lesson 9 分詞「英語への日本語借用」 Lesson 10 比較「ピカソの人生」	P. 20, 21 P. 24, 25
10	12/27,28	6	Lesson 9 分詞「英語への日本語借用」 Lesson 10 比較「ピカソの人生」	P. 20, 21 P. 24, 25

◇テスト範囲

前期期末	レポート No. 1～3 教科書 L. 1～4	後期期末	レポート No. 4～6 教科書 L. 5～10
------	----------------------------	------	-----------------------------

◇成績評価の方法

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかり取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。 テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価する。